

# わがふるさとを

## オンリーワンに

### NPOふさとテレビ1周年記念シンポジウム

NPOふさとテレビ設立  
一周年記念シンポジウム「今  
ふさとが面白い。ふさとの  
の元気を語ろう！」が七月七  
日、東京・千代田区のみうろ  
りホールで開催された。

シンポジウムに先立ち行わ  
れた「日本再建のため行革を  
推進する700人委員会」代  
表世話人・水野清氏の基調講  
演「地方は中央の犠牲になっ  
たのではないか」では、国も  
地方も多額の借金を背負い、  
たいへんな今だからこそ「改  
革のチャンス」。そのために  
は、それぞれの地方の財産を  
見つけ、「発想を変えろ」と  
「獨創性を持つこと」が大事  
だと、締めくくった。

続いてのパネルディスカッ  
ションでは、慶應義塾大学経  
済学部教授・島田春雄氏がコ

ディネーターを務め、エッセ  
イストのアン・マクドナルド  
氏、アメリカカンファミリー生  
命保険会社創業者・最高顧問  
の大竹美喜氏、全国ふさと  
大使連絡会議副代表幹事兼事  
務局長・甲斐秀治氏、前全  
国知事会会長・前岐阜県知事・  
梶原拓氏、(株)ユミカツライ  
ターナショナル代表取締役社  
長・桂田美氏、フジテレビジ  
ョン報道局解説委員・キャスタ  
ーの黒岩祐治氏、市町村アカデ  
ミー学長・(財)地域総合整備財  
団(ふさと財団)理事長・  
嶋津昭氏ら七人のパネリスト  
が、「ふさとへの思い」「ど  
うすればふさとが元気にな  
れるか」を、小気味良いテン  
ポで語り合った(写真)。

未来塾(大竹氏)、地域学  
(梶原氏)、アジア・ブライダ

ルサミット(桂氏)という、  
自分たちの活動を交えながら  
見えてきたものは、「マグネッ  
ト」人を引き付ける磁力の大  
切さ」「(黒岩氏)、「観光とは  
光を見ると書き、人は光に引  
き付けられる。どんな光を発  
することが出来るかは人にか  
かっている」(大竹氏)とい  
うこと。その一方で「全国で  
進む合併が、ふさとの魅力  
を殺してしまっているのでは」  
(マクドナルド氏)という懸  
念と複雑な思いを抱えなが  
らも、「平成のふさと創生事  
業を」(嶋津氏)、「地域の人  
たちと一緒にやって、ふさと  
と映画をつくらう」(甲斐氏)  
と、話は展開。「それぞれの  
土地が育んできた歴史・伝統・  
文化に誇りを持って、それを  
オンリーワン」に育て上げ  
る。そうすれば、地方が元気  
になり、いい日本になるので  
は」と、島田氏がまとめあげ  
た。

午後六時からは赤坂プリ  
ンホテル別館  
五階「ロイヤ  
ルホール」で  
同法人一周年  
記念パー  
ティーが行わ  
れた。

各市町村長  
をはじめ、国  
会議員らも多  
数出席して、  
一周年と今後  
の発展を祝し  
た。



ふさとテレビ設立一周年記念シンポジウム  
「今、これから、ふさとが面白い。ふさとの元気を語ろう！」